

平成 28 年度 下 半期 指定管理者管理運営状況シート

●施設の概要

施設名	長森児童センター	所管課	子ども未来部子ども支援課
所在地	岐阜市野一色4丁目11番4号		
指定管理者名	社会福祉法人 岐阜市社会福祉事業団		
指定期間	平成24年4月1日～平成29年3月31日まで		
選定方法	<input checked="" type="checkbox"/> 公募 <input type="checkbox"/> 非公募		
料金制	<input type="checkbox"/> 使用料 <input type="checkbox"/> 利用料金 <input checked="" type="checkbox"/> 料金徴収なし		
指定管理委託料(年額)	14,603,657円		
施設の設置目的	児童に健全な遊びを与えて、その健康を増進し、又は情操を豊かにすることを目的とする。		
施設概要	◇構造:鉄筋コンクリート造平屋建 ◇敷地面積:1,412.06㎡ ◇延床面積:440.25㎡ ◇施設内容:遊戯室、幼児室、集会室兼図書学習室、おもちゃ図書館、事務室、駐車場		

●利用状況

		H28 下半期	H28 上半期	H27 下半期	H27 上半期	H26 下半期
利用者数 (単位:人)	来館者数	14,885	17,020	14,228	16,150	12,874
	移動児童館利用者数	935	487	610	189	211
各室稼働 状況	移動児童館実施回数(単位:回)	14	10	8	4	6
	開館日数(単位:日)	151	157	151	156	151

●業務の履行確認

区分	確認事項	履行状況
利用者サービス	①開館日・開館時間の遵守 ②適切な人員配置 ③広報の方策 ④苦情への対応 ⑤仕様書、事業計画書に基づく事業の実施	①、⑤計画通り実施。 ②所長(常勤職員)、常勤職員2人。(所長含め児童厚生員3人)。 ③おたより「あそぼっけ」、「幼児版あそぼっけ」を発行・配布し、児童館ホームページに掲載。ふりあネットへの登録。2か月ごと担当校区内自治会の回覧板により各家庭に広報。 ④苦情・クレームについては、マニュアルに従って対応。アンケート結果は館内に掲示。
自主事業・提案事業	—	—
施設管理	①施設設備の保守点検の実施(仕様書別記2参照) ②施設の衛生管理に対する配慮、快適に利用できる状態の保持 ③省エネルギー並びに環境への負荷の軽減に努めること ④施設・設備・備品等の維持管理	①、④適切に実施。 ②就労促進事業施設清掃班による清掃を実施。 ③使用していない部屋の消灯、エアコンの適正室温の設定による節電を実施。 ④おもちゃ病院のボランティアによる定期的なおもちゃの修理。
施設修繕	下記の観点からの修繕実施状況 ①迅速な修繕の実施 ②指定管理者のノウハウを生かした修繕・整備	②大規模な修繕については指定管理者(本部)及び岐阜市に要望を提出。
危機管理・法令遵守	①個人情報の保護 ②非常時の対応策 ③関係法令の遵守	①、②、③マニュアル等に沿って適切に実施。 ②消防訓練を1回実施。

●利用者評価

<p>利用者アンケートの実施状況</p>	<p>【幼児クラブアンケート】 平成29年3月9日～3月17日に幼児クラブ参加の保護者に無記名にてアンケートを実施。 回答者数71人(回答率100%)</p>
<p>利用者アンケートの実施結果</p>	<p>【幼児クラブアンケート】 ○長森児童センターを知ったきっかけは 友人・知人24人、近所に住んでいる19人、回覧板10人、子どもころにあそんでいた10人、おたより8人、親子ふれあい教室5人、ホームページ5人、ぶりあ3人、保健センター3人 ○職員について あいさつ 満足70人、ほぼ満足1人 言葉使い 満足69人、ほぼ満足2人 対応 満足66人、ほぼ満足5人 ○幼児クラブについて 満足64人、ほぼ満足7人 ○施設について 満足40人、ほぼ満足30人、やや不満1人 ○意見等 職員について 子どもの名前をすぐに覚えてもらえ、うれしい。 いつも笑顔で接してくれる。 一人一人の子をよく見てもらえ、できるようになったことをほめてもらえ、子どもも来ることが楽しみになっていて、よかった。 上の子と下の子のそれぞれの性格にあった対応をして頂けて、うれしい。 幼児クラブについて 同じ年齢の子と遊べた。 いつもやさしくして頂いて、ありがたい。 子どもたちはもちろん、母親も顔見知りができ、よかった。 毎回楽しい。家ではできない様々な遊びができ、良い刺激になった。 新しいお友達ができて、よかった。 人見知りでしたが、おともだちや先生と関わる中で、楽しく参加できた。 他</p>
<p>利用者からの要望・苦情と対応・改善</p>	<p>要望 ⇒ 回答 もう少し駐車場が広いと良い。 ⇒ クラブの日などご迷惑をおかけしますが、職員が誘導しますので、気を付けて駐車してください。 木のおもちゃが増えるとうれしい。 ⇒ 検討します。 冬は寒い ⇒ 各部屋に暖房設備がありますので、寒いときは職員にお知らせください。ただ、ホールには暖房設備がないため寒く感じることもあるかもしれません。 ゴミ箱を設置してほしい。 ⇒ 申し訳ありませんが、衛生面を考慮し、設置しておりません。気になることがありましたら、職員にお知らせください。 絵本がもう少し増えるとうれしい。 ⇒ 1年に数回(約30冊)は新しい絵本を購入しています。もしリクエストがありましたら、気軽に職員にお知らせください。</p>

●指定管理者の選定基準に基づく評価

区分	選定基準	評価項目	具体的な業務要求水準	評価		
				指定管理者	所管課	評価委員会
公平性 透明性	住民の平等利用が確保されること	平等利用を確保するための体制、モニタリングなど	・利用者アンケートの実施 ・運営委員会の開催	A	A	A
		情報公開、広報の方策	・利用者アンケート結果の公表(館内掲示など) ・広範で適切な広報活動の実施(ホームページなど)	A	A	A
		区分評価			A	
効果性	事業計画書の内容が、対象施設の効用(設置目的)を最大限発揮するものであること	既存業務の改善、工夫又は新規事業等の実施	・業務改善や工夫又は新規事業(行事)等の実施	A	A	A
		利用者ニーズ、苦情などの把握方法及び対応方策など	・利用者アンケートの実施 ・苦情・クレームへの着実な対応	A	A	A
		利用者に対するサービス向上の方策(窓口対応、プロモーション、設備の整備など)	・移動児童館の実施(仕様書別記3参照) ・利用者へのサービス向上に繋がる方策の実施	A	A	A
		利用促進、利用者増の方策	・利用促進や利用者増に繋がる方策の実施	A	A	A
		サービスの質を確保するための体制、モニタリングなど	・事務分掌等に基づく事務分担の実施	A	A	A
		施設の効用(設置目的)を最大限発揮できるスタッフの配置	・児童厚生員を2人以上、その他の職員(施設が児童センターの場合は体育指導員)を1人以上配置(このうち最低1人は常勤職員とすること)	A	A	A
		区分評価			A	
効率性	事業計画書の内容が、管理経費の縮減が図られるものであること	指定管理経費の妥当性(収支計画の妥当性など)	・収支計画に沿った運営(予算書に沿った執行)	A	A	A
		管理経費縮減の具体的方策	・管理経費縮減に繋がる方策の実施(リサイクルやリユース、節水・節電など)	A	A	A
		区分評価			A	
安定性 安全性	事業計画書に沿った管理を安定して行う物的能力、人的能力を有していること	組織及びスタッフ(採用予定者も含む)の経歴、保有する資格、ノウハウ、専門知識等	・児童厚生員を2人以上、その他の職員(施設が児童センターの場合は体育指導員)を1人以上配置(このうち最低1人は常勤職員とすること)	A	A	A
		スタッフ(採用予定者も含む)の管理、監督体制	・事務分掌等に基づく管理・監督体制並びに事務分担の実施	A	A	A
		スタッフ(採用予定者も含む)の人材育成の方策	・職員の資質向上を図る研修の実施又は研修会への参加	A	A	A
		リスクへの対応方策(防止策、非常時の対応マニュアルなど)	・危機管理(リスク)や非常時対応のマニュアルの整備 ・リスク防止策の実践	A	A	A
		区分評価			A	
区分	選定基準	評価項目	具体的な業務要求水準	評価		
貢献性	事業計画書の内容が、岐阜市あるいは施設がある特定の地域(以下「地元」という。)の振興、活性化などに貢献できるものであること	地元の法人その他の団体の育成(一部業務の再委託先)、地元住民の活用(雇用又はボランティア等)	・地元の諸団体との連携、交流 ・地元の法人その他団体の育成又は地元住民・高齢者・障がい者等の活用	A	A	A
		地元での社会活動等への参加	・地元の振興、活性化などに貢献できる社会活動等への参加(地元行事への参加)又は地元の団体・住民との協働事業等の実施	A	A	A
		区分評価			A	

●指定管理者の取組みに対する自己評価(良否、課題と解決策など)

<p>今期の取組み に対する評価</p>	<p>○子育て支援事業を積極的に実施した。その結果、幼児の利用者が前年度同時期と比較し112人増加した。(年間の利用者も昨年度より約1500人増加した。)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・乳幼児とその保護者対象の登録制幼児クラブを42回実施した。定員を超えたクラスもあったが、参加する母親の希望に応じて、申込者全員を受け入れた。(4クラスで194組) ・0歳児対象の自由参加のクラブを6回実施し、250人の参加があった。(前年度同期は119人) ・1歳児以上の自由参加のクラブを9回実施し、411人の参加があった。(1回平均人数45人) ・子育て相談事業を6回実施し、31人の相談を受けた。(前年度同期は25人) ・幼児の母親に好評の「缶バッジ作り」を2回実施し、86人の参加があった。 ・母親クラブの事業として「人形劇の会」を実施し、95人の参加があった。 <p>○担当5校区に回覧板を実施した(2ヶ月に1回、計3000部)</p> <p>○移動児童館の数の増加</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学校からの依頼が定着したため、乳幼児対象の移動児童館と合わせて14回実施した。
<p>前回までの意見を 踏まえた取組み状況</p>	<p>○アンケートについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アンケート調査を実施する際に、「やや不満」や『不満』と感じられる方が、各項目について意見が書けるようにしている。幸い今回は、該当する方はいなかったが、それぞれの意見に対しては、誠実に回答をした。
<p>今後の取組み</p>	<p>○回覧板の活用について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施し始めて数年になるが、アンケート調査の結果から、PR効果があるといえるので、継続していく。(71人中10人が回覧板で知ったと回答) <p>○移動児童館について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・担当小学校からの依頼も定着し、少なかった回数も年間で20回を超えるようになってきた。さらに新しい団体へのPRを継続していく。(特にあまり実績のない校区) <p>○子育て相談事業の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・相談者の人数が、年々増加していることから、引き続き継続していく。

●所管課の意見

<p>毎月発行している「おたより」を担当校区児童全員へ配布し、地元自治会の回覧板を2ヶ月ごとに利用するほか、保健センターにも掲示するなどの広報活動を行っている。</p> <p>子育て支援事業を積極的に行っており、登録制幼児教室を42回(前年度同期38回)実施、定員を超えるクラスについても要望に応え申込者全員を受け入れた。また、子育て相談事業を6回実施、前年度同期より6人増の31人の相談者の受け入れを行ったことにより、前年度同期より利用者増となった。</p> <p>また、以前は半期で一桁台だった移動児童館について、校長が出席する児童センターの運営委員会において口頭説明だけでなく、画像を見せわかりやすく説明したり、地域の公民館で行われている母親の自主サークルへ直接説明に行くなど地道な活動によって、特に小学校からの依頼が定着したことから、今期は半期で14回にまで増えることとなった。今後更なる拡大に期待したい。</p> <p>職員体制や経営状況については、問題なく運営が行われている。</p>
--

●指定管理者評価委員会の意見

<p>運営委員会や母親サークルでの積極的な呼びかけや、事業内容についてプレゼンテーションを行うなどの努力の結果、移動児童館の回数や参加者が大幅に増加したことについて評価したい。</p> <p>子育ての悩みを打ち明けられず孤立する母親が多い中で、児童センターにおいて子育て相談の受け入れを行っていることは、地域にとって非常に貴重な存在と言える。今後も子育て相談を継続し、地域の子育て支援に貢献して頂きたい。</p> <p>利用者アンケートの満足度や記載内容から、児童センターのとても気さくで温かい雰囲気が読みとることが出来、利用者増にもつながっていると考えられる。</p> <p>管理運営は適正に行われており、良好と認められる。</p>
